

高知地区より



いつも仲良し♪

(左) モコ(6歳)♂

(右) イト(1歳)♀

キュートなおめでカメラを見つめる、モコとイト。

飼い主さんの情報によると…モコはおやつが大好きな食いしん坊さん。イトは、いつも元気いっぱい天真爛漫な性格なんだとか！

お気に入りの食べものは、お肉系のおやつ！好きなことは、2匹で一緒に楽しく遊ぶこと♪写真でも、可愛い顔をそろって見せてくれます。とっても仲良しなんです♡

互いに支え合い、 元気に活動しています！

放課後等デイサービス
PONY HOUSEの皆さん

活動をはじめて今年で5年目となる、PONY HOUSE。そこにはたくさんの元気な子どもたちが集まっています！3頭のポニー(パル、モモ、サクラ)と一緒に過ごしており、乗馬をしたり、おやつをあげたりとみんなで和気あいあいと活動しています。

撮影に行くと、さっそく乗馬をしているところを見せていただいたのですが、みんな上手でピククリ☆責任者の宮地さんは「馬はとても寂しがりやな動物ですが、子どもたちが明るく笑う姿に元気をもらっています。お互いに支え合いながら過ごしているんですよ」とお話ししてくれました♪

甲殿地区より



高知地区

から こんにちわ 今月の○○ 気になる人

春野園芸部より



キュウリ作りをスタート！

いけだ なおや
池田 直也さん(33歳)

20アールのハウスで、妻と義母の3人でキュウリ作りをスタートしました。

和歌山県出身です。大阪で開催された移住フェアに参加して、妻の出身である高知県で農業をすると決めました。担い手センターで春野は集出荷場が整っていると勧められ、生産に集中できると思い、キュウリを選びました。まずは仕事をがんばって、高知の暮らしを楽しみたいと思います。

今の目標は…

やまもと しゅんや
山本 駿也さん(26歳)

2018年に入組し、JA職員となって今年で4年目になります。大学時代は県外にいましたが、「地元に戻りたい」という思いがあり、高知県内で勤められるよう就職活動を行いました。

現在は、統括本部 総合企画部 総務課に所属し、業務に励んでいます。自分はマイペースなところがあるので、手際よく業務を進められるようになることが今の目標！周りの先輩方も優しく接して下さるので、これからも一緒に頑張りたいと思います。

高知地区より



できごとピックアップ

地区内のイベントや、地域農家の取り組みなどを紹介します！



応募ハガキを抽選する職員

1 JAグループ高知 応募総数14万4627通！ ミヨウガキャンペーン抽選会

JA高知県とJA土佐くろしお、JA高知市は9月6日、高知市で、高知県産のミヨウガを買って応募する「みよוגが現金5000円プレゼントキャンペーン」の抽選会を開きました。キャンペーンは6月1日から3か月間で、スーパーなどで販売するミヨウガのパックに貼付された応募券を3枚一口とし、応募すると抽選で500名に現金5000円が当たるもの。

JA高知市は9月6日、8050通、web応募は1万6577通ありました。記入事項に好きなミヨウガ料理の項目を設け、応募者からはミヨウガの天ぷらや甘酢和え、ピザに乗せるなどのアイデアも寄せられました。

園芸販売部の藤原由悟部長は「出荷量の多い時期に合わせたキャンペーンで販売促進に手がたえがあった。消費者が期待するイベントを仕掛け、消費拡大につなげたい」と話しました。

2 高知地区 信連と農林中金が球根寄贈



球根と目録を受けとる岡崎市長と東山常務、高木部長

JAバンク高知信連と農林中金は9月30日、高知市に花の球根4種類、2040袋（1万2千球）を寄贈しました。高知信連の東山英仁常務と農林中金の高木克尚高知県担当部長が市役所の岡崎誠也市長を訪ね、球根と目録を手渡ししました。

球根の寄贈は1994年から農林中金が始め、今年で28回目。2010年からは高知信連と連携して行っています。東山常務は「美しい町づくりに役立ててほしい。市民が明るく元気な気持ちになることを願っています」と話しました。岡崎市長は「長年の寄付に感謝しています。市民も球根の配布を楽しみにしています」と感謝しました。球根は中央公園で開く都市緑化祭りで配布されました。

3 JA共済

抗原検査キット寄贈



届けられた検査キット

JA共済は、JAの組織活動に立ててもらおうと、新型コロナウイルス抗原検査キット1000セットをJA高知女性組織協議会と高知農協青壮年連盟に寄贈しました。JAでは、キットを県内の地区本部等に配置し、必要な場面があれば利用します。

キットを届けた共済連企画管理課の武田秀丞課長は「コロナ禍で女性部や青壮年部などJAの組織活動を自粛、制限せざるを得ない状況が続いている。安心して活動できるようにキットを活用してほしい」と話しました。

4 女性部 家の光記事活用体験発表

高知県代表に小松陽子さん



録画した発表を審査する審査員（高知市で）

JA高知女性協議会とJA高知中央会は9月28日、高知市で家の光記事活用体験発表の審査会を開き、女性部コスモス地区吾北支部の小松陽子さんを高知県代表に選びました。発表を事前に録画し、家の光協会などが審査しました。

小松さんは「家の光をパートナー」と題して「巻きずしコンテスト」に挑戦したエピソードを発表。女性部活動の刺激になり、アイデア巻きずしは商品化も検討されていると話しました。

審査員は「記事活用を軸に、コンテストを開催した地域の力を生き生きと表現している」と評価しました。

5 フレッシュミズ部会

webマルシェでフレミズ交流会



マルシェの商品を見るフレミズ部員

中四国フレッシュミズ交流部が9月28日、オンラインで開催し、9会場120人が参加しました。高知会場は12人が参加し、「Withコロナ時代の新たなフレッシュミズ組織を考える!!」をテーマに事例発表や講演を行いました。初の試みとして各県のフレッシュミズが手掛ける加工品・手芸品をPRする「フレッシュWebマルシェ」を実施。動画を見ながらフレッシュミズ部員らの気持ちが込められた商品を確認したり、情報交換を行い交流を深めました。

6 営農販売事業本部

青ゆずまつりinひろめ市場



青ゆずサワーで乾杯する佐藤さんら

高知県ゆず振興対策協議会は8月下旬から9月にかけて、ひろめ市場の飲食店に青ゆずを提供し料理に使うってもらう青ゆずまつりを開きました。コロナ禍で中断したものの、22店舗がサワーや肉、魚料理に青ゆずを使用し、さわやかな香りと果汁が来場客に好評でした。

県の時短要請が解除となった9月27日、東京から訪れた佐藤孝さんらは青ゆずがたっぷり入ったサワーを楽しみ「香りがよくてさっぱり飲める、カツオやうなぎとよく合う」と高知の味覚を堪能しました。

高知農業改良普及所より

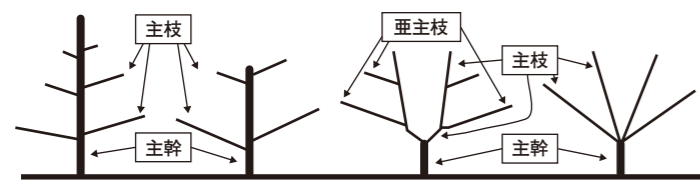
果樹の整枝・剪定について

1. 整枝と剪定の違い

整枝とは、その樹の樹形を構成する骨格枝（主幹・主枝・亜主枝）の配置を整えるための作業をいい、剪定とは不要な枝を切ることをいいます。込み入った枝の整理、着花調節のための枝整理、枯れ枝切除などの作業も剪定には含まれます。

2. 樹形の種類

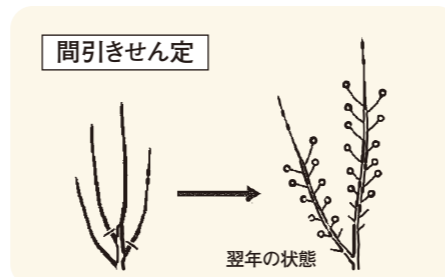
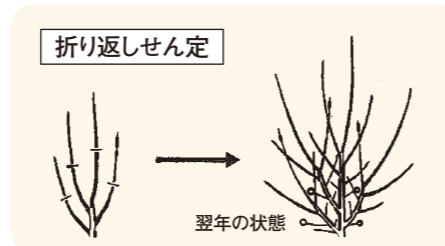
立木で栽培する果樹の主な樹形については以下のとおりです。



①主幹形 ②変則主幹形 ③開心自然型 ④杯状型

- ①主幹形：クリスマスツリーの様に主幹が中央にまっすぐ立っている樹形です。カキやクリでは、幼木期はこの樹形を用い、樹が大きくなり光の透過が悪くなった時点で変則主幹形か開心自然形に移行する方法もあります。
- ②変則主幹形：当初は主幹形の仕立てとし、主枝が十分に広がれば主幹を2～3mの高さにある主枝との分岐で切り下げ、主枝を3～4本配置する樹形で、カキやクリで多く用いられています。
- ③開心自然形：放任しておいても主幹が高く立ちにくく、枝が開張しやすいモモ、ウメ、スモモ、カンキツなどで用います。主幹はユズの場合20～30cmとし、主枝を1本ではなく2～4本立てます。
- ④開心形（杯状形）：主幹を40～50cmとし、ほぼ同位置から主枝を杯状に開張させる樹形。モモなどで用いられていましたが、樹勢がやや弱りすぎる欠点があります。

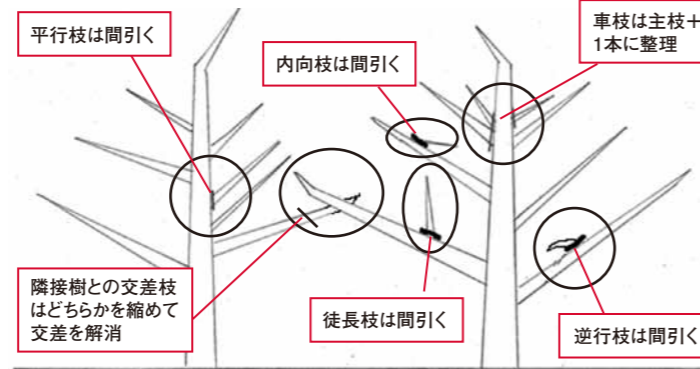
3. 間引き剪定と切り返し剪定



枝の途中で芽を残して切り返し切り方を切り返し剪定と呼び、強い枝を出させて樹勢を回復するために用います。枝を分岐部で芽を残さずに切る方法を間引き剪定と呼び、光を樹の内部に入れる空間を作るために行います。

4. 間引き剪定の進め方

枝の込み入ったところには、内向枝（主幹の方向に向かってる枝）・逆行枝（枝の元の方向に向かってる枝）・徒長枝（長すぎる当年枝）・立ち枝（主枝・亜主枝の背面から上向きに出る枝）・平行枝（同じ方向に近い場所から発生している枝）・車枝（1カ所で3本以上分岐している枝）・交差枝（枝同士が交差している枝）といった邪魔枝が必ずあります。そういった枝を太い枝から順番に間引くことによって目的とする樹形に近づけていくようにしましょう。



問い合わせ先：中央西農業振興センター 高知農業改良普及所
(TEL.088-866-0711) (FAX.088-861-0660)

役立つ！ 得する！ 情報 えいのう〜

春野営農経済センター 営農指導課

TEL:088-894-5660

今一度確認しましょう!! 農薬の適正使用! ②

散布履歴を記帳しよう!

農薬使用履歴は、安全・安心の証明 防除日誌を必ず記帳しよう

農薬の使用履歴は、十分な防除効果と収量物の安全性を確保するために定められています。適正に記帳し、散布履歴を記録し、農作物の安全性を確保するための重要な役割を果たします。

記帳方法は、記入のやりかたを詳しく説明しています。

ポイント① 日誌は作業・収穫前に記入し、作業後には最低3年間は保管してください。

ポイント② 散布履歴は、農薬の種類・散布日時・散布量・散布機・散布者などを記入してください。

ポイント③ 防除日誌は、農薬の適正使用の記録として、農作物の安全性を確保するための重要な役割を果たします。

ポイント④ 防除日誌は、農薬の適正使用の記録として、農作物の安全性を確保するための重要な役割を果たします。



指導員 渡邉

きちんと後片付け・保管をしよう!



散布器具、ホース等は十分に洗浄し、河川等に洗浄水が流出しないよう心掛けてください。空容器や空袋は廃棄物処理業者に処理を委託して適切に処分しましょう。購入した農薬は、鍵がかかり盗難・流出の恐れのない場所に保管して下さい。



指導員 竹内石井 卓田

鳥獣被害対策専門員からのお知らせ

高齢猟師が一念発起！ 共助でイノシシに立ち向う

これまで電気柵やワイヤーメッシュ柵を利用した鳥獣被害対策をご紹介させていただきましたが、いかなる防護柵を設置したとしても被害を止めることができないケースがあります。そのような場合の最終手段として罠を用いた捕獲があるのですが、今回はある猟師にまつお話を紹介します。

ある日管内の方からイノシシ被害の相談があり、経済的理由から電気柵等の対策はできないため捕獲を依頼したいとのことでした。折しも猟師のほとんどの方は正業を営んでおり、毎日の見回りを必要としない檻罠を得意としていましたが、檻罠はすべて使用中のため、くくり罠を選択するほかない状況でした。対象となる猟師さんはいずれも高齢で体調も思わしくないと伺っていましたが、どこで耳にしたのか一人の高齢の猟師が現れたのです。その猟師も足を負傷し通院していると



鳥獣被害対策専門員 上地 かみじ かずひさ 和久
携帯電話:090-3189-0373



ことで、周囲が制止するにもかかわらず、「高齢者が困っているのになんとかせんといかん！」と一喝。颯爽と山に入り、くくり罠を設置してきたのです。

数日後、2頭のイノシシを見事に捕獲し、依頼者の知人や地域の方にも、搬出を手伝うなどの協力を得ることができました。

このように地域の住民が協働して鳥獣被害を軽減していく共助の取り組みが何よりも大切だと感じます。近年、若き猟師の育成が喫緊の課題でありますので、社会貢献や営農者の利益を守るために、狩猟に興味がある方はぜひご連絡ください。



皆さんからのご意見、ご感想、つぶやき、川柳、イラストなど、お便りを心待ちにしています！

みんなのひろば

米ナスを使ったレストランメニューを見て、次の休みはレストランランチに行こうと決めました。どこのお店に行こうか、迷っています。

(高知市小石木町 38歳)

▼素敵なお店がいくつも紹介されていたので迷いましたよね！無事におでかけできましたか？高知県産のおいしい食が楽しめるお店を、またご紹介しますのでお楽しみに〜！

花について書かれていた記事の中で、花は贈る側も贈られる側もお互いが笑顔になるという内容を見て本当にそうだと実感しております。これからも花屋さんの記事をとっても楽しみにしています。あまり花に興味が無かったのですが、高知の花のことを読んでから関心を持つようになりました。

(高知市介良 51歳)

▼私も最近、お花を贈り物に選ぶことが多くなりました。もちろん「高知のお花で」とお願いしております。今は生花だけでなく、ブリザーブドフラワーなど色々な楽しみ方があるので、選択肢が多くて悩みます*新聞スリッパを作って枕元におきました。

「こうぐり」のおかげです。
(春野町弘岡下 72歳)

▼「こうぐり」がお役に立ち良かったです！私も初めて知る事があったので、勉強になりました。身近なものでできる物が多い分、取り組みやすかったですね。

新聞紙で作るスリッパ、さっそく孫と作ってみました。少しの工夫で役立つものが出来るんですね。

(高知市高須 66歳)

▼お孫さんとの素敵なお時間で、防災グッズ作り！折り紙感覚で楽しく取り組みながら、お孫さんの勉強にもなるので良いですね！

P20のお花屋さん、私の大好きな「花水木」さんが掲載されていたのが嬉しかったです。

(高知市青柳町 81歳)

▼よく行かれるお店なのでしょう！知っているお店が載っているとワクワクしますね！カゴにアレンジされたお花もとっても素敵でした*
P22の工芸村特産センター中岡さん・町田さんにも会い、紫黒うどんを食へに行ってみます♡

(高知市潮見台 60歳)

▼ぜひぜひ行ってみてください！食へてみた感想のおハガキもお待ちしておりますよ！郵便受に届く広報誌「こうぐり」を読んだり、JAのお店に行ったりすることは、私の単調な生活に潤いを与えてくれます。JA応援しています。

(春野町平和 68歳)

▼ありがとうございます。これからも読みたいのある誌面になるよう頑張ります！JA店舗のご利用についても、今後もぜひ宜しく願います☆
味噌汁にトマトを入れる発想は無かったの面白かったです。試してみます。

(福岡県福岡市 30歳)

▼お味噌汁にトマトを入れる発想、ビックリしましたね！簡単で美味しそうなので、私も作ってみようと思います！

高知市よりお知らせ 高知市農業収入保険加入促進事業

新型コロナウイルス感染症により影響を受けている農業者の経営安定化のため、高知市では高知県農業共済組合(NOSAI高知)が取り扱う収入保険の掛金の一部を助成します。

詳しくは高知市農林水産課(TEL823-9458)またはNOSAI高知中部支所(TEL856-7111)まで。

- 要件**
- ・高知市に住所を有する農業者で、令和4年1月1日時点で収入保険に加入している者
 - ・掛け捨て部分の保険料の1/2以内(補助限度額10万円)

高知市農業収入保険加入促進事業(新型コロナウイルス感染症対策)

■事業概要

- 新型コロナウイルス感染症の影響が長期化しており、本市においても農産物の販売量減少、価格低下など新型コロナウイルスを要因とする農業経営への影響が見られ、感染症の拡大等、農業を取り巻くリスクの予測が困難かつ深刻化しています。
- 全ての農産物を対象とし、自然災害や新型コロナウイルス感染症の影響による収量減少や価格低下等、農業者の経営努力では避けられないリスクに対応する制度として農業保険法に基づく「収入保険制度」がありますが、感染状況が続くなか、農業者の経営リスク軽減と併せ、加入促進のため農業者の保険料を一部補助する「収入保険加入促進事業」を実施します。

■事業内容

- 収入保険に加入する農業者(個人、法人)に対して、加入者が負担する保険料(掛け捨て部分)の2分の1を補助(上限10万円)します。(令和3年度のみ)
 - ・高知市の住所を有する者(法人にあっては本店又は主たる事務所を市内に有する法人)
 - ・市税の滞納がないこと
 - ・令和4年1月1日時点で収入保険に加入していること
 - ・青色申告を行っている農業者(個人・法人)であること

■助成の流れ 支援対象 R4.1.1~R4.12.31を収入保険期間とする契約

